

日本学術会議 公開シンポジウム

人工知能(AI)やロボットは
百寿社会を幸福にするのか？

主催：日本学術会議 情報学委員会 環境知能分科会

後援：一般社団法人情報処理学会、一般社団法人電子情報通信学会、IEEE東京支部

子供からセンテナリアンまで多様な世代から構成される百寿社会において、人工知能(AI)やロボットが幸福をもたらすことができるのか？現場で活躍されている識者、人工知能(AI)やロボットの研究者を交えて熱く議論します。

<開会挨拶> 萩田紀博 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所)

<講演1> 「AIやロボットは仕事を奪うか」

土井美和子 (国立研究開発法人情報通信研究機構)

<講演2> 「勝手気儘に生きたい - 支えるのは、AI? ロボット? 福祉用具? それとも? -」

伊藤健三 (一般社団法人日本福祉用具評価センター, 株式会社ニチイ学館)

<講演3> 「病や老い - 当事者の視点から見えてくる世界 -」

小松浩子 (慶應義塾大学看護医療学部)

<パネルディスカッション>

コーディネーター：土井美和子 (国立研究開発法人情報通信研究機構)

パネリスト：伊藤健三 (ニチイ学館), 小松浩子 (慶應義塾大学),
後藤真孝 (産業技術総合研究所), 西田眞也 (日本電信電話株式会社),
萩田紀博 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所)入場
無料

日程 2018年 9月13日 (木)

時間 13:00~17:00

会場 日本学術会議 講堂 (1階)
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口 徒歩1分

(定員になり次第締め切り)

申し込み方法・連絡先

以下の申し込みサイトより申込み

<http://www.cuc.ac.jp/~takako/aml.html>

担当：橋本 隆子 (日本学術会議連携会員、千葉商科大学)

takako@cuc.ac.jp

